

令和2年度 第1回東北森林管理局保護林管理委員会  
議事概要

**1. 日時及び場所**

令和2年11月17日（火） 13:30～15:30  
東北森林管理局 大会議室

**2. 議 事**

- (1) 生物群集保護林の地帯区分について
- (2) 報告事項

**3. 議事概要**

- (1) 生物群集保護林の地帯区分について

4つの生物群集保護林の地帯区分について検討を行い、保護林区域を全域保存地区とするもの（毒ヶ森〔岩手南部森林管理署〕、柵峰・飯森山〔岩手南部森林管理署〕）及び保全利用地区を設定する（焼石岳〔岩手南部森林管理署〕、男鹿半島海岸植生生物群集保護林〔米代西部森林管理署〕）事務局案については、特段の異論は無く、ほぼ原案通り了承された。

[委員からの主な意見]

- 焼石岳生物群集保護林について、保護林区域を横断する国道に沿って保全利用地区を設定するという説明であったが、バッファー的な小班界が道路線に沿って新たに付け加えられたように見える。小班界は地形や林相を元に引くはずであり、本来の小班界はもう少し奥にあると思われる。そういった点からも、山地災害等の発生も十分あり得るから、保全利用地区を1小班あらかじめ広めに設定した方が、合理性が高い。

(事務局)

委員の意見のとおり、1小班分広げて、保全利用地区を設定することとする。

- (2) 報告事項

- 令和2年度朝日山地森林生態系保護地域部会の概要報告  
朝日山地森林生態系保護地域の管理状況及びモニタリング調査に係る事項について協議し、円滑な保全・管理を図るため、設置されている標記部会の審議結果等について報告した。

[部会座長（菊池委員）からの報告事項]

- 今年度は書面開催となったが引き続き、朝日山地の保全・管理に関する情報についてしっかり共有することが重要。

○ 遊仙峡クリ遺伝資源希少個体群保護林の取扱いについて

山形森林管理署管内の当該保護林については、平成 30 年度モニタリング調査結果において、保護対象であるクリがほぼ確認されず、更新も不良であるという報告を受け、令和 2 年 8 月上旬に、東北育種場、山形森林管理署及び東北森林管理局の合同で現地検討を実施した結果、クリの生育を確認し、当該保護林については存続することについて報告した。

[委員からの主な意見]

- クリの天然林では、クリは陽樹であるから一切更新せず、ある程度の自然の攪乱が無ければクリはまとまって更新しない。
- 現状のプロット調査も重要であるが、それを継続しつつ、プロット調査に問題が生じれば、現地を見る必要がある。

○ 管理方針書改訂案について

令和元年度モニタリング調査結果を受けて改訂する、管理方針書改訂案について報告した。